# Reading 2-1　Olivia (1)

講師　赤塚祐哉

右から、講師の赤塚祐哉先生、Shizuka Rachel Anderson さん

**学習のポイント**

■到 達 目 標：物語の内容が伝わるように音読できる

■今日の題材：サンディと介助犬オリビアとの出会いについて

■文法・表現：仮定法過去 as if

※それぞれの解答例は、番組で確認してみましょう。

## Pre-listening

以下の２点に気をつけながら英文を聞いてみましょう。

①アニマルシェルターにはどのような動物たちが収容されていましたか？

②サンディはアニマルシェルターでどのような犬と出会いましたか？

## Today's focus　文法・表現

**■仮定法過去 as if**

She felt as if Olivia were listening to her.

「彼女はあたかもオリビアが自分の声に耳を傾けているかのように感じた。」

as if は「あたかも……であるように」という意味を表します。

be 動詞の過去形として was ではなく、were を用いる点に注目しましょう。

■Today's Key Word　(　　)

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。

# Reading 2-2　Olivia (2)

講師　赤塚裕哉

**学習のポイント**

■到 達 目 標：物語の内容が伝わるように音読できる
■今日の題材：オリビアの読書介助犬としての活躍
■文法・表現：理由・原因を表す because

※それぞれの解答例は、番組で確認してみましょう。

## Pre-listening

以下の２点に気をつけながら英文を聞いてみましょう。
①サンディは図書館に勤める友人にどんな提案をしましたか？
② R.E.A.D. プログラムに参加する子どもたちは何をしましたか？

## Today's focus　文法・表現

**■理由・原因を表す because**

Some children did not like reading books aloud in front of others because they could not read well, and people laughed at their mistakes.
「子どもたちの中には、他人の前で声を出して本を読むことが好きではない子どももいました。なぜなら、彼らは上手に読めず、人々が彼らの間違いを笑ったからです。」

この because は「～なので」と訳され、原因・理由を表す最もよく用いられる接続詞です。

■Today's Key Word　(　　)

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。

# Reading 2-3　Olivia (3)

講師　赤塚裕哉

**学習のポイント**

■到 達 目 標：物語の内容が伝わるように音読できる
■今日の題材：ショーン少年と読書介助犬オリビアの生涯
■文法・表現：tell＋人+that、手紙の書き方

※それぞれの解答例は、番組で確認してみましょう。

## Pre-listening

以下の２点に気をつけながら英文を聞いてみましょう。
①ショーンはどのような少年か。
②サンディはショーンにどのようなことを打ち明けたのか。

## Today's focus　文法・表現

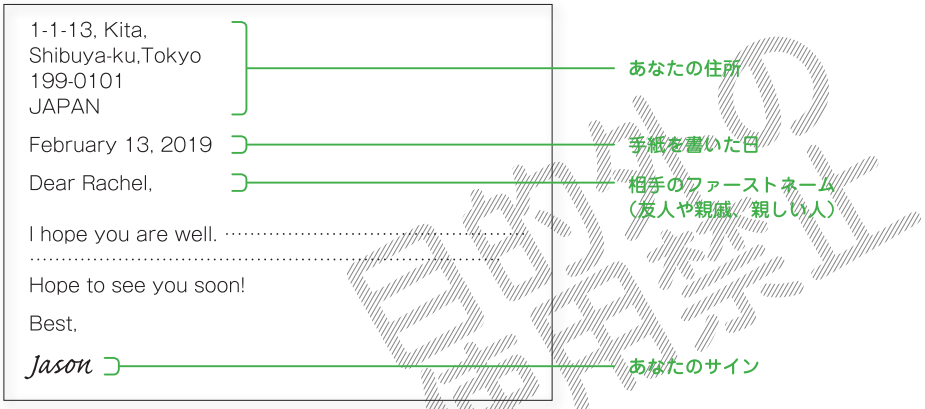
■【tell＋人＋that】

He told Sandy that he did not like dogs.
「彼はサンディに自分は犬が好きではないと話しました。」

「tell ＋人＋ that……」の形で、「人に……だと話す」、という意味です。

**■手紙の書き方**

手紙にはフォーマルなものと、友達などにおくるインフォーマルなものがあります。
以下はインフォーマルな手紙のサンプルです。




■Today's Key Word　(　　)

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。